

更新

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト 事業者名: 株式会社熊日広告社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																												
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17												
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 経営理念及び経営目標を社内でも共有、実践している。	●		・次の50年を見据えて6つの目標と3つの行動指針を掲げ、共有・実践している。								8	9											17									
	2	【法令遵守】 法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・就業規則は、法令に基づき作成し、準拠遵守し企業活動を行い、コンプライアンスについてグループウェアで発信できる体制が整備されている。																				16									
	3	【公正な競争】 不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・下請法に準拠して、下請事業者への支払い遅延、減額、返品、買いたたき、購入・利用強制を禁止している。												10								16									
	4	【組織体制】 企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・社員の任免、その他の進退は社長が行い、責任者(取締役)が統括し、各部門において対応する体制ができています。																					16								
	5	【知的財産保護】 知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・特許権及び著作権など知的財産権の不正使用や侵害する行為は行わないことを確認し、周知徹底している。								8.2	9											16									
	6	【個人情報保護】 個人情報を適切に管理している。	●		・特定個人情報取扱規程を設けている。・個人情報管理のために、熊日グループとしてセミナーを開催し、受講している。																					16								
	7	【ステークホルダーとの対話】 ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・ステークホルダー(媒体社・アウトスタッフ)と常に情報交換を行い影響を把握し、発注書のシステム化などの改善等に取り組んでいる。																				16	17								
	8	【サプライチェーン管理】 サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●							5				8		10		12	13	14	15	16	17											
	9	【災害や事故への備え】 地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●												9		11		13.1						16	17								
	10	【事業承継】 事業承継に関する検討・対策を行っている	●											8	9											17								
	11	【公正な貿易】 フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●											1	2											5	8			12	13	14	15	16
労働・人権	12	【差別の禁止】 性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内でも差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・雇用、教育、昇進・登用、福利厚生などあらゆる雇用条件で、差別しない体制を構築して実施している。 ・各種ハラスメントのセミナーに社員が参加し、理解を深めるようにしている。				4.3	5.1				8.5		10.2											16.1					16.2	16.7	
	13	【労働安全衛生】 業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・年2回産業医を交えて、安全衛生委員会を開催している。 ・交通安全啓発として講習会の実施や、運転前のアルコールチェックを励行している。			3						8.8																				
	14	【公正な待遇】 雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・パートタイム労働法、労働契約法等の改正内容を理解し、同一労働、同一賃金等の原則に沿った体制の整備対応を行っている。						5.5			8.5		10.2		10.3																
	15	【ワークライフバランス】 働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・働き方改革を受け、ノー残業デーを取り入れるなど労働時間の短縮に取り組んでいる。			3			5.5			8.5		8.8		10.3																
	16	【人材育成】 適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・職務や役割に応じた研修体系を整備し実施している。(管理者研修など) ・必要な資格は会社負担で取得させている。					4	5.5			8	9																			
	17	【健康経営】 従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上に取り組んでいる。	●		・インフルエンザ予防接種の経費補助を実施している。 ・健康診断は、毎年100%受診している。			3						8																		17		
	18	【ダイバーシティ経営】 多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・障がい者を雇用している。 ・多様な人材がその能力を最大限に発揮できる環境を整備している。				4.4	5.1	5.5				8.5		10.2		10.3												16.7			
	19	【新しい生活様式への対応】 新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		・テレワーク推進のために個人用パソコンやモバイル用携帯を支給し、テレワークに対応している。 ・コロナ禍でウェブ会議室をつくり、打合せ、採用のための面談に対応している。 ・令和5年新社屋建設・移転でウェブ会議室・ブース等を更に充実させている。				3						8	9.1		11	12															
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		・基幹システムをクラウド化し、申請等の電子化などDXの推進を積極的に進めている。 ・令和5年新社屋建設において社内インフラを充実させた。										8	9.1		11	12															
	21	【プライト企業】 プライト企業に認定されている。	●		平成29年10月認定。令和6年度申請中。				3	4					8	9			12															

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・廃棄物の種類・量などの現状を把握し、熊本市に毎年「廃棄物減量・リサイクル計画書」を提出している。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1					
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・電気・ガソリン・水道の使用量を毎月記録している。 ・LEDを一部導入している。							7.3						13							
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・九州電気保安協会の「ECOネットシステム」を導入し、CO2の排出量を把握している。 ・アイドリングストップを推進している。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15					
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・再生紙など、再生可能材料の使用や不要・長期未使用在庫の削減に努め、再利用を考慮して廃棄物の材質分別に配慮している。						6.6									14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・再生紙など、再生可能材料の使用や不要・長期未使用在庫の削減に努め、再利用を考慮して廃棄物の材質分別に配慮している。 ・令和5年新社屋移転時に旧社屋のオフィス家具の一部を廃棄せずカンボジア政府に寄贈した。											9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15			
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・毎月の使用量を把握し使用量削減の計画を策定している。		2.4					6.1 6.3 6.4 6.6 6.b						11.5			14.1 14.2 14.3	15		17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・基幹システムをクラウド化し社内HHD等の専用機器を削減、温暖化対策の一つとした。										9.4			12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●				1	2				6.4								12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●															11.6 11.7		13.1 13.3		15			17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4			11.5		13.1 13.3					
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●								6					9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●									6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●																12.2 12.5		14				
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●													9.4		11.2		13.1 13.3					
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●			新社屋移転に伴い、令和6年に旧社屋のオフィス家具の一部を廃棄せずカンボジア政府に寄贈した。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4			11.6 11.a	12.8	13					17.2	

Table with 22 columns: 分類, No., チェック項目, 基本, チャレンジ, 具体的な取組み, and 17 numbered columns for SDGs. Rows include items 37-50 categorized under '製品・サービス' and '持続可能な社会・地方創生'.

25 25